

NPO (特定非営利活動) 法人 笠岡を元気にする会

本会は、2012年5月に結成され、同年9月12日にNPO法人の認証を受けました。
活動の視点を、笠岡の元気を創る“まちおこし”とし、特に、①島、②農村、③商店街、④干拓の活性化支援を行い、同時に社会的弱者の方々の“さいごの砦”“駆け込み寺”として、会員のみなさん方と力を合わせて、生活相談を強めていきたいと思ひます。

元気会 〒714-0085 笠岡市四番町3-20 TEL 63-0911 HP <http://kasaoka-genkikai.com>
(「元気会」の事務所は、笠岡グランドホテル正面です 気軽にお立ち寄りください)

No.99 2020年 8月 1日発行

BMX日本代表 長迫吉拓選手 祝

激励メッセージにお父さんから



出場決定記念として7月9日(木) 東京オリンピック一年前イベントとして7月23日(木) 激励パネル吉拓選手に届けました

吉報です 中央共同募金会から 1,132,000円の 助成金決定



コロナ禍の中で「居場所を失った人への緊急応援助成」に、元気会が選ばれました。三洋の3F、4Fの寄宿所を基盤に社会的弱者の緊急保護やコロナ対策のセーフティステイなどの、日々の私たちの活動が評価されました。中央共同募金会のみなさんの激励に負けずに引き続き力を合わせて頑張ります。ありがとうございました。

吉報です 石の島 笠岡諸島 日本遺産に六島が 追加認定



6月12日に、日本遺産に六島の大石山(花崗岩の巨石がある)が、追加認定されました。近く、元気会は大石山・六島へ行くツアーを企画します。ヨロシク!

道の駅 8/4(火)で 開設 9周年

今や笠岡の観光メインスポットとなった、干拓の「道の駅 笠岡ベイファーム」。2011年8月4日の開設から丸9年。四季の花畑が来客者を楽しませます。今、ひまわりが満開です。



お父さん、お母さんが 大井南のシンガーソングライター 森 恵さんに 応援メッセージを!



カラオケバトルなどで人気の歌手、森恵さん。コロナ禍の中で、全国公演が全て中止となっています。ガンバレコールの暑中見舞いは
〒142-0062 東京都品川区小山3-1-2-406
(株) MULTI FORMAT STUDIO JAPAN 森恵様 宛

吉報です 高齢者のみなさん

高齢者タクシー料金助成制度が、市民税課税者も原付免許のみ持っている人ももらえます!
※詳しくは別紙



コロナ対策 万全で やりました♪ 元気夏まつり



7/24(金) 利用者のお母さんより
「コロナのこの時期に…と言う人もいるとは思うけど、一番は利用者さんのために……批判も覚悟で頑張ってくれる元気会が大好きです。今日の夏まつりのために、頑張ってくださいみなさんに感謝です。」こんな声が寄せられました。その様子は、別紙特集で掲載



吉報です 吉相さんの「絆」

全国に先がけて、自宅まで来てもらえる「移動葬儀車」現在、製造中。来年4月から稼働。
それまでみんな生きておこう! (笑)



お疲れさまでした 笠岡愛の善意銀行さん

元気会活動の学びの原点として尊敬していた“愛の善意銀行”さんが、64年間の活動に終止符を打たれました。故 長安亮太郎先生が、恐らく全国初であろう“よろず相談所”として善銀を発足させられ、その意志を 桑田義彦氏、渡辺学氏、三好孝一氏と引き継がれた64年間。

常に社会的弱者の立場でボランティア精神強く発揮された、笠岡の誇りとも言うべき社会奉仕団体でした。関係者のみなさまに深く感謝です。



連載



元気かい? 生活相談

泣き笑いの秘話 No.5

元気会生活相談活動の中から、“暮らしの谷間を埋める” 紹介シリーズ 今回は“真鍋さん”

元気会の障がい者支援事業

楽しく笑いながら 心輝かせ みんながんばってます!

すみよしキッズ



児童発達障がい支援 現在、登録15名

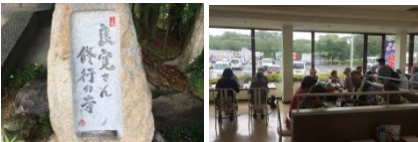
三洋



生活介護支援事業 現在、登録13名

7月の集え〜る・ひまわり

集うと元気になるマイクロバスの旅



7/3は良寛さんの玉島・円通寺 7/10は呂久町・一本松 道の駅



7/17は世羅の夢吊橋へ 7/24は千拓でトイモロコン狩り



さとみ

就労継続支援B型作業 現在、登録45名

笠岡夏の風物詩

よっちゃれの夜 8/1 (土) コロナ禍のため
 港まつり花火大会 8/9 (土) 中止です
 でも、11/1 (日) 千拓ウォーキングは実施です

求人 急募!



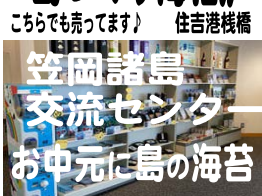
- ① 会社案内業務 高齢者 (障がい手帳所持者)
- ② 水島方面労務社業 送迎付 (若者)

元気会の兄弟NPO: 笠岡諸島を背負う “島づくり海社”



島のお土産は 笠岡グランドホテル前 元気会横の

しまのこしで



こちらでも売ってます) 住吉港棧橋
 笠岡諸島 交流センター
 お中元に島の海苔

笠岡市の定住促進課から電話が入った。「金沢市の方が笠岡諸島に移住されるんですが、コロナ情勢下で、即、移住とはいかず、しばらく“三洋”でセーフティステイを引き受けてもらえますか？」

当然、「ハイ、イイヨ」

二日後、金沢からどことなくセンスのある上品な60歳代のご夫婦が滞在。

お聞きすれば名前が、真鍋さんという。

“アーそれで、全国のマナビ姓の発祥の地が笠岡の真鍋島ですから、とかなんとか、四方山話をしていると、

“実は、金沢芸術大学の教授をしていたんですが、退官してゆっくりとのどかな島で…と思って、瀬戸内海の各島を探していたところ、とくる。



“家内は、牛窓が良いと言ったんですが、私がやっぱり、真鍋姓ですから…”。

実は、家内は浄瑠璃などの人形造り作家でして…”とくる。

こんな人的財産の方が島に来ていただければ島は喜ぶぞと、“先生”に次々と要望。

- ・真鍋島の小学校の先生になって下さい。
- ・瀬戸内芸術祭と笠岡諸島の橋渡しになって下さい。
- (真鍋さんは実は瀬戸芸関係者)
- ・笠岡諸島日本遺産推進のメンバーになってください。

矢継ぎ早のお願いにも、終始、ニコニコしながらみなOK♪。島はきっと、良くなるよ。

